

令和元年7月2日

発言者	発言要旨
梶原委員	<p>今回の地震では、あつみ温泉だけでなく鶴岡市内の他の温泉地にも何らかの影響が出ている。あつみ温泉に限定した考え方について聞きたい。</p> <p>また、旅館だけでなく、土産店や飲食店など、例えばプレミアム付き商品券なども含め、あつみ温泉全体への支援が必要ではないか。また、鶴岡市からはそういった要請はなかったのか。</p>
観光立県推進課長	<p>あつみ温泉は、今回の地震により営業停止を余儀なくされる等、他の温泉地と比較して特に被害が甚大であることから、早期に対策を講じる必要があると考えた。こうした中、鶴岡市が実施するあつみ温泉への宿泊割引について、鶴岡市からの要請を受け、県も鶴岡市に対し支援を考えている。</p> <p>緊急に、あつみ温泉に対して、7月の1箇月間集中的に支援を行うことにより、8月からの海水浴、行楽シーズンに向け正常な状態に回復させ、鶴岡市内の他の温泉地、ひいては庄内地域全体の宿泊需要を底上げするという好循環を早期に構築していくことが大切と考えている。</p> <p>県全体については、風評被害防止に向けた情報発信や旅行会社への働き掛け、旅行商品造成支援により対応していく。</p> <p>鶴岡市から聞き取ったところでは、約9,000名のキャンセルが4つの温泉地に出ており、このうちあつみ温泉が7割と大きな割合となっている。鶴岡市の特に被害の大きいあつみ温泉に集中的に支援したいという考えに呼応したところであり、県外の方にインパクトがあり、即効性がある緊急的対策として、事務処理の簡素化も含め、旅館における宿泊割引への支援を行うことを鶴岡市と調整したものである。</p>
木村委員	<p>7月一杯であつみ温泉復活キャンペーンは終了するが、8月の海水浴シーズンに訪れる方への支援策はないのか。</p>
観光立県推進課長	<p>これまでの傾向として、8月は年間で一番観光客が多い。鶴岡市においても、7月までに需要回復できれば、8月以降の心配はしていない状況である。</p> <p>庄内地域以外においては、既にキャンセルは落ち着いている。庄内地域を中心に、既存事業も活用し、首都圏等における全県的なPRに取り組み、通常の需要に戻していきたい。8月以降の誘客対策は既決予算で対応する。</p>
木村委員	<p>東日本大震災の被災地から、被災地に対する一番の支援は現地で買物をしてもらうことと聞いている。今回も現地で買物をしてもらうことが、一番の支援になると考えるがどうか。</p>
観光立県推進課長	<p>被災地を訪れて買物をしてもらうことは大事なことで、これから制作する観光プロモーション映像により、魅力の発信を行うとともに、あつみ観光協会や鶴岡市からも購買意欲につながる仕掛けを考えてもらい、県としてもそれを情報発信していきたい。</p>
鈴木委員	<p>地震発生から2週間が経過しているが、情報発信事業と旅行会社へのツアー造成支援事業については、どのように効果的に実施していくのか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
<p>美食・美酒ツーリズム推進室長</p>	<p>プロモーション動画の作成については、議決後すぐに実施できるよう準備を進めている。</p> <p>また、旅行会社に対する県内送客への働き掛けも既に行っている。今回の助成事業を旅行商品づくりの呼び水にして行きたいと考えている。</p>
<p>森谷副委員長</p>	<p>ツアー造成支援事業の対象となる期間、旅行会社はどうなるのか。また、具体的な支援内容はどのようなものか。</p>
<p>美食・美酒ツーリズム推進室長</p>	<p>旅行商品造成については、7月以降できるだけ早急をお願いしたいと考えている。</p> <p>対象の旅行会社については、送客力のある大手旅行会社を考えており、今後、PRキャラバン隊の派遣等により造成を働き掛けていく。</p> <p>事業内容としては、1商品あたり20万円を助成するもので、特に広告掲載に費用がかかるので、それに対する支援により、宣伝を促していく。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>緊急対策としての無利子融資によって、一定の人が助かると考えている。</p> <p>特別金融相談窓口などで丁寧に対応するとともに、被害の全容がようやく明らかになってきたところなので、活用できる支援制度についても、今後、柔軟に対応してほしい。</p>
<p>中小企業振興課長</p>	<p>6月20日から特別相談窓口を開設している。この度、経営安定資金第4号を発動するとともに、金融機関、市町、県が連携し、無利子で融資できることとなったので、相談窓口において丁寧に対応していきたい。また、関係機関に説明会をしていく中でも、有利な制度を紹介していきたい。</p>
<p>菊池(大)委員</p>	<p>ツアー造成助成支援に関して、あつみ温泉、庄内地域に限らず、県全体が対象となるのか。</p> <p>また、鶴岡市内のあつみ温泉以外の温泉への宿泊について、優先的に商品造成を働き掛けてはどうか。</p>
<p>美食・美酒ツーリズム推進室長</p>	<p>あつみ温泉、庄内地域を含め県内全域を対象にした宿泊プランの造成への支援を想定しており、県全体の観光需要の回復に活用したい。</p> <p>キャンセル被害の大きい温泉への宿泊旅行商品の造成について、意を用いていただきたいと考えており、個々の旅行会社に対して、その旨働き掛けていきたい。</p>